

骨軟部腫瘍の臨床病理学的な特性と治療の効果・安全性に関する研究

1. 研究の対象

1997年1月から2027年12月までに、当院で骨や軟部組織（脂肪、筋肉、神経、血管など）にできた腫瘤（しこり）の診断や治療を受けられた方を対象と致します。

2. 研究目的・方法

骨腫瘍・軟部腫瘍およびそれらに類似する疾患は稀であり、希少がんの一種とされます。そのため、その診断や治療についてはまだ不明な部分も多く、さらなる改善に向けて取り組んでいく必要があります。

これまで国立がん研究センター中央病院骨軟部腫瘍・リハビリテーション科で診断・治療を受けた骨軟部腫瘍症例の診療データを用いて、その臨床病理学的な特性と、治療の効果・安全性に関する研究を実施致します。この研究で得られた結果は、学会や論文で公表することで、本邦における骨軟部腫瘍の診断・治療の向上に寄与するだけでなく、今後新たな前向き臨床試験を検討する際の資料としても、重要なものとなることが期待されます。

具体的な方法は、診療録および骨軟部腫瘍データベースから抽出した研究用のデータ集を用いて、後方視的な（後から見返す）研究を行います。研究実施期間は研究開始日（2018年1月頃）より10年間を予定しています。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

試料：特に使用しません。

情報：病歴、手術の情報、化学療法の情報、放射線治療の情報、四肢の機能、最終転帰等です。尚、カルテ番号、病理番号、生年月日等を症例識別のために用いますが、研究用データに変換する際に、匿名化して個人が特定されないように致します。

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：研究責任者

研究責任者：

国立がん研究センター中央病院骨軟部腫瘍・リハビリテーション科 川井 章